

## 16. 果樹病虫害，雑草の防除効果増強を目指して — 広島県病虫害防除基準・除草剤使用基準（果樹）の改訂 —

### 1. 背景とねらい

新規農薬は、公的研究機関で防除効果・安全性・使用方法及び地域適応性等が試験されており、その結果は、農薬登録認可の基礎資料として活用される。農業技術センターでは、新規開発農薬の中から、将来本県で必要と考えられる農薬を対象に試験を実施している。

これまでの試験成績に基づいて関係機関と協議し、広島県病虫害防除基準・除草剤使用基準（果樹）を改訂し、効率的な防除及び農薬の適正使用を推進する。

### 2. 成果の内容

広島県病虫害防除基準・除草剤使用基準に果樹対象の農薬として、48 剤を新規に採用または適用拡大により追加し、16 剤を削除した。採用した主なものは次のとおりである。

- 1) カンキツでは、ミカンハモグリガに対するアドマイヤー 1 粒剤，ダントツ粒剤など 14 剤を新規に採用または追加した。
- 2) ブドウでは、灰色かび病に対するカンタストライフロアブルなど 5 剤を新規に採用または追加した。
- 3) ナシでは、心腐れ症に対するトップジンM水和剤など 7 剤を新規に採用または追加した（表 1）。
- 4) 除草剤は、果樹類の 1 年生雑草および多年生雑草を対象に、タッチダウン i Q など 4 剤を新規に採用または追加した（表 2）。

### 3. 普及上の留意点

新規採用農薬の使用に当たっては、「平成 18 年度広島県病虫害防除基準・除草剤使用基準」を参照する。

（常緑果樹研究室・落葉果樹研究室・柑橘研究室）

4. 具体的データ

表1 ナシ心腐れ症に対する防除効果（2003年）

薬 剤 名	希釈倍数	調査果数	発病果率%	防除価
トップジンM水和剤	1500倍	187	5.5±3.7	83
(対照)パルノックスフロアブル	500倍	220	18.4±3.4	43
無 散 布	—	302	32.1±4.6	

注) 品種：幸水，散布：4月18日（満開日），28日，5月8日，19日，28日  
 収穫：8月25日，調査：9月4日，発病果率：平均値±標準誤差

表2 カンキツ園場の1年生，多年生雑草に対する除草効果（2002年）

処理時期	適用雑草	対象草種	薬剤名	薬量	散布水量 (L/10a)	効果(日数)			効果の程度 (%)	抑草期間 (日)	
						発現	完成	再生発現			
春期 4/22	1年生雑草	カラスノエンドウ	タッチダウン i Q	250	25	4	15	21	<5	55	
		オオイヌノフグリ		250	50	4	17	22	0	60	
		ウシハコベ		500	50	4	14	24	0	60	
		オオアレチノギク		(対照) ラウンドアップハイロード	250	50	5	18	22	<5	60
		ノゲン									
	ウマゴヤシ	無処理 (刈り取り)						80			
	多年生雑草	イヌムギ	タッチダウン i Q	500	25	4	16	23	0	60	
		カタバミ		500	50	4	15	22	<5	60	
		クサイ		1000	50	3	12	25	0	60	
		(対照) ラウンドアップハイロード		500	50	4	14	23	0	60	
無処理 (刈り取り)									80		
夏期 7/23	1年生雑草	メシバ	タッチダウン i Q	250	25	2	13	22	<5	50	
		オヒシバ		250	50	2	8	21	0	65	
		スベリヒユ		500	50	2	12	21	0	60	
		エノコログサ		(対照) ラウンドアップハイロード	250	50	2	11	21	<5	50
		チチコグサモドキ									
	タチイヌノフグリ	無処理 (刈り取り)						95			
	多年生雑草	カタバミ	タッチダウン i Q	500	25	2	10	21	<5	55	
				500	50	2	10	21	0	65	
				1000	50	2	10	23	0	65	
				(対照) ラウンドアップハイロード	500	50	2	13	23	0	65
無処理 (刈り取り)									95		

注) 供試樹：カラタチ台レモン21年生，土壌：埴壤土